

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
ふ り が な	くずりゅうがわすいけいちょかつさぼうじぎょう
1. 事業(施策)の名称	九頭竜川水系直轄砂防事業
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	昭和53年 4月 1日 ~ 令和7年 3月31日
災害枠で推薦の場合	
3. 事業費(工事費)	20, 300 百万円
4. キーワード	真名川ダム・笹生川ダムの堆砂抑制、インフラ保全、自然環境・山間レクリエーション空間保全、魚道設置、PC 材を使用したアーチ式砂防堰堤、無人化施工、記念碑揮毫
5. 事業概要	未曾有の洪水や山腹崩壊の大災害をもたらした昭和 40 年 9 月の奥越豪雨を契機に、昭和 52 年に真名川ダムが完成し、昭和 53 年より砂防事業に着手。真名川ダム、笹生川ダムの治水機能の確保、国道 157 号等の公共施設の保全、優れた自然環境の保全等を目的に砂防事業を実施しており、平成 16 年には、福井豪雨を契機に、笹生川ダムの堆砂抑制、土石流被害の再発防止を目的に追加し、砂防えん堤、山腹工の整備を進め、流域内における公共施設の保全及び下流の治水安全度の維持を実施し、令和7年3月に事業目的を完成したことにより、九頭竜川水系直轄砂防事業を完成。

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(1)魚道設置 (2)PC 材を使用したアーチ式砂防堰堤 (3)INSEM 工法を活用した工事コスト縮減	(4)無人化施工 (5)記念碑揮毫
アピールする 2)「秀でた成果」		(6)ダム堆砂抑制 (7)インフラ保全 (8)自然環境・山間レクリエーション空間保全

7. 特にアピールしたい点

真名川砂防事業では、「自然にやさしく、人にあたたかい砂防」を目指して、郷土と暮らしを守るだけでなく、自然の美しさをさらに魅力あるものとするよう、自然との調和、地域の人々に愛される砂防事業を進めている。

(1) 魚道を設置した環境にやさしい砂防堰堤

真名川砂防事業により設置した砂防堰堤は生態系に配慮して砂防堰堤に魚道を設置しています。魚類や水生生物などが遡上、降下できるように魚道を設け、溪流に生息する生物の生息環境を損なわないような配慮を行っています。

(2) 機能性と美しさを兼ね備えたアーチ式砂防堰堤

笹生川第三堰堤は全国的にも珍しいアーチ式の砂防堰堤です。PC パネルを使用することで、工事のコスト削減・省力化・工期短縮を実現しました。さらに、アーチ形状の水通し部分では、水が立体的に流れる様子を楽しむことができます。

(3) 全国的な先駆けとして実施した無人化施工

雲川災害復旧工事において全国的に早い段階で無人化施工を採用しました。崩落土砂直下においては斜面の再崩落や高所からの落石の危険性が高く、通常の工法では作業員の安全が確保できなかったため無人化施工を実施しました。

(4) 堰堤の完成記念式典及び銘板の書道作品募集

真名川の直轄砂防の砂防堰堤完成記念として、土砂災害防止に対する理解と関心を深めるために、地元大野市内の小学生から完成した堰堤の銘板に刻む書道作品を募集し、その中の最優秀作品により記念碑を建てました。

(5) 笹生川ダムへの堆砂抑制

笹生川ダム上流域すべての流入支川に堰堤を整備し、ダムへの土砂流入を抑制する。

(6) 自然環境・山間レクリエーション空間保全

優れた自然環境を保全するとともに、山間レクリエーションの空間を確保する。

8. 事業を代表する写真及びキャプション

(1) 魚道を設置した環境にやさしい砂防堰堤

雲川第一堰堤



全面斜路式魚道

温見堰堤



アイスハーバー式魚道

(2) 機能性と美しさを兼ね備えたアーチ式砂防堰堤



施工当時の笹生川第三堰堤

(3) 全国的な先駆けとして実施した無人化施工



(4) 堰堤の完成記念式典及び 銘板の書道作品募集



三谷谷堰堤銘板

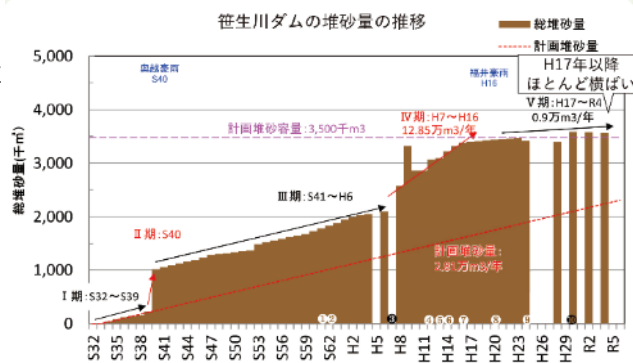


杉ヶ谷堰堤

(5) 笹生川ダムの堆砂抑制

ダム完成から 65 年経過の笹生川ダムの現在の堆砂量は計画堆砂容量の 102%ですが、全支川への砂防施設整備効果等もあり近年の堆砂量は、0.9 万 m^3 / 年と減少しています。

現在では当初計画していた堆積速度(3.5 万 m^3 / 年)と比較しても1/4 程度に遅くなっています。



(6) 自然環境・山間レクリエーション空間保全

真名川砂防管内では多くの祭りやイベントが開催され、福井国道河川事務所も参加して地域を応援してきました。



事業区間にて実施されている自然環境イベント「森と湖に親しむ旬間」(R7.7 実施)

真名川砂防事業の経緯

